

薬用作物産地支援 栽培技術研修 東北・関東・北陸会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会  
 受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者  
 研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上  
 研修実施場所： 高崎白銀ビル貸会議室（群馬県高崎市白銀町9）第一会議室  
 実施時期： 11月18日(木)～19日(金)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
11月18日 (木)	12:40-13:20 (40分)	12:40現地集合 場所：上毛高原駅(JR東日本) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:20-14:50 (90分)	[現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	群馬県「利根沼田農業協同組合」のトウキ園場における現地研修を通じて、薬用作物の特徴、栽培上の注意点、収穫、品質評価等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	南 輝雄 坂西 和也 田淵 雅和	利根沼田農業協同組合 薬草部会部長  営農企画課  株式会社ツムラ 生薬一部
	14:50-15:40 (50分)	移動(バス利用) →高崎市内研修会場		事務局	
	16:10-17:10 (60分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと国内栽培に向けて	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	小柳 裕和	日本漢方生薬製剤協会生薬国内生産検討班長
11月19日 (金)	9:00-10:20 (80分)	[講義] 薬用作物の栽培技術	地域の生産者から要望の高い栽培技術について解説する(シャクヤク、トウキ等)。	柴田 敏郎	前・国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター客員研究員
	10:30-11:10 (40分)	[講義]岩手県における薬用作物研究事例	薬用作物における機械除草体系の確立とトウキの育苗省力化技術の開発について紹介する	菅 広和	岩手県農業研究センター 県北農業研究所 作物研究室 主査専門研究員
	11:20-12:00 (40分)	[講義]長野県における薬用作物研究について	長野県における薬用作物栽培研究の取り組みについて農水省委託プロの成果も含めて紹介する。	由井 秀紀	長野県野菜花き試験場佐久支場 専門研究員
	12:10-13:10	昼食			
	13:10-14:40 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	事前提出資料の報告をもとに、各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40-15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	